

# 2026年度前期 白鷗大学公開講座

大学ホームページにも、掲載しております。 [https://hakuoh.jp/about/about\\_10.html](https://hakuoh.jp/about/about_10.html)

2026年4月13日更新

No.	講座名	学習内容	教員	日にち	時間
①	北関東の都市の未来を考える(1)その現況と長期的な都市戦略課題	北関東が置かれたその現況について、都市課題を最新の研究動向から紹介し、人口減少や地域の縮小と変容など長期的な都市戦略の観点から整理してゆく	小笠原 伸	6月26日(金)	15:30~17:00
②	北関東の都市の未来を考える(2)都市の持続のために都市戦略ができること	北関東が持続してゆくために都市戦略や社会デザインとしてできることを、都市生活や新産業、創造性、デジタル、インフラなど複数の研究領域やキーワードから横断的に示し提案してゆく	小笠原 伸	7月3日(金)	15:30~17:00
③	道の駅について考えようー災害との関わり	地震をはじめとして災害については高い関心が寄せられる。災害そのものをなくすことはできないけれど、それから生じる被害を軽減する、あるいは被災後の生活を少しでも良くすることはできるかもしれない。この観点からすると、ふだん何気なく利用している道の駅が災害時に大きな役割を果たしうると期待される。このような認識から、災害と道の駅について実際の事例を交えつつ考察する。	山田 徳彦	7月11日(土)	3時限 13:00~14:30
④	虚偽・誇大広告に騙されないために~景品表示法の規制の概要	実際のものよりも安い、品質が良い、などの虚偽・誇大広告を規制するための法律である「不当景品類及び不当表示防止法」(景品表示法、景表法)について、その規制内容や法運用の状況について説明します。	田辺 治	6月30日(火)	2時限 10:40~12:10
⑤	ステルス・マーケティングとダークパターン	不当表示の最近のトピックであるステルス・マーケティングとダークパターンの二つの問題について、どんな問題があるのか、どのような規制が試みられているのか、消費者は何に気を付けたいのか、などを説明します。	田辺 治	7月7日(火)	2時限 10:40~12:10
⑥	2026年衆議院選挙と経済・財政	今年2月の衆議院選挙は圧倒的な与党の対象に終わりました。国民は何を求めたのか、何がこの結果を招いたのか。高市総理が主導した解散、総選挙について経済、財政の視点からみなさんと一緒に考えます。	藤井 亮二	5月27日(水)	2時限 10:40~12:10
⑦	「株主総会」とは何か?	株式を取得すると行ける「株主総会」。6月はこの「株主総会」のシーズンです。さて、この「株主総会」とは、いったいどのような「会」なのでしょう。本講座では、このナゾを明らかにしたいと思います。	白石智則	6月29日(月)	6時限 18:00~19:30
⑧	「株式」とは何か?	新NISAの開始や日経平均の記録更新を受け、「株式」投資をする人が増えていますが、この「株式」とは何なのか、「株式」を取得するとどういいういこと(わるいこと)があるのか、皆さんご存知でしょうか。本講義では、この「株式」について会社法の観点からやさしく説明したいと思います。	白石智則	7月20日(月)	2時限 10:40~12:10
⑨	売春防止法改正と買う行為の犯罪化	売春防止法の条文や刑罰の内容、法改正により買う行為を犯罪化した場合の実効性、売る側の行為の非犯罪化、犯罪化した場合の影響、法律によるセックスワーカーの権利の保障などについて、一緒に考えます。	清水晴生	5月13日(水)	3時限 13:00~14:30
⑩	増加する空き家に自治体はいかに対応するか?	人口減少時代において増加するする空き家に対して、自治体はいかに対応すべきか論じたい。	岩崎 忠	5月27日(水)	4時限 14:40~16:10
⑪	頻発する災害に対して自治体はいかに対応するか?	災害の歴史を振り返りながら、国土保全から地域防災、自治体間連携に災害対策がシフトしてきている現状を論じたい。	岩崎 忠	6月17日(水)	4時限 14:40~16:10
⑫	老朽化する水道管に対して、自治体はいかに対応すべきか。	高度成長期に整備された多くの水道管が更新の時期を迎えているが、自治体は財源不足や人員確保が困難な状況にある。こうした状況の中で、自治体はいかに対応すべきか。広域化・民営化の視点から考察したい。	岩崎 忠	6月24日(水)	4時限 14:40~16:10
⑬	自治体におけるインターネット上の誹謗中傷等の防止対策と今後の条例立案のあり方について	インターネット上の誹謗中傷という政策課題の特徴と自治体の政策手段を概観し、その特徴から物理的制御を使った政策立案の可能性について言及した上で、立法事実を踏まえた条例立案の重要性について論じたい。	岩崎 忠	7月22日(水)	4時限 14:40~16:10
⑭	日本における二院制について考える~昨今の政治情勢をふまえて	2026年2月の総選挙で大勝した自民党高市政権。衆議院では3分の2以上の勢力を保持しながらも参議院では過半数割れしている状況にある。二院制の意義はどこにあるのか、改めて考える機会としたい。	市島 宗典	6月17日(水)	6時限 18:00~19:30

No.	講座名	学習内容	教員	日にち	時間
⑮	学童保育の援助の向上において(1)生活作り	学童保育は児童の育ちのためにとても大切な場となっています。しかしながら、利用時間の短さや少ない専任での運営など課題もあります。今回は、学童保育での生活作りからこれらの課題への対応の工夫を考えたいと思います。	伊勢 正明	5月18日(月)	9:30~11:00
⑯	学童保育の援助の向上に向けて(2)発達障害児童の育成支援	学童保育では発達障害をはじめとする様々な障害を積極的に受け入れられるように求められています。しかし、障害のある児童の受け入れには、それなりの専門知識や技能が求められます。今回は、応用行動分析におけるABC分析の話題をもとに発達障害児童への援助(環境構成や言葉かけ)の工夫について考えたいと思います。	伊勢 正明	6月29日(月)	9:30~11:00
⑰	学童保育の援助の向上において(3)地域との連携のアイデア	学童保育の運営の難しさは、少ない専任と多くの利用児童という非対称性が根源にあると考えられます。その非対称性を少しでも緩和する方策として“地域”の人々とながかり、学童保育での生活の内容に変化を持たせることの可能性を考えてみたいと思います。	伊勢 正明	7月27日(月)	9:30~11:00
⑱	地域での連携を考える(1)就学前後の接続と連携のアイデア	就学前後の接続と連携は、その重要性を指摘され続けてきましたが充実が難しいテーマでもあります。今回は幾つかの小学校で行われている取り組みを手掛かりに就学前後の接続と連携のアイデアを考えてみたいと思います。	伊勢 正明	5月16日(土)	10:00~11:30
⑲	地域での連携を考える(2)保育と療育の連携・協働のアイデア	就学前の施設や施策が多様化が進んでいます。このような変化を踏まえて特別なニーズのある子どもとその保護者への援助のあり方を保育と療育の連携・協働の観点から考えてみたいと思います。	伊勢 正明	6月27日(土)	10:00~11:30
⑳	地域での連携を考える(3)地域福祉の観点からのアイデア	様々な課題の解決や発展、あるいは災害等への対応のためには、縦割り考えられることが多い施策を横のつながりて結びつける必要があります。この回では、地域福祉の観点から“就学前後の接続”や“保育と療育の連携”を考えてみたいと思います。	伊勢 正明	7月25日(土)	10:00~11:30

【お申し込み方法】(1講座単位で申し込みいただけます。また、お1人様何講座でも申し込みいただけます。)

Web申込フォーム、メール、ファックスのいずれかでお申込みください。

★申し込み締切りは、各講座の開講1週間前までとなります。

●Web申込フォーム

パソコン、スマートフォンで、次のページにアクセスして、必要項目を入力後、送信してください。

【URL】 <https://forms.office.com/r/RFh28xWFjk>

●メール、ファックスの場合

以下の内容を明記してください。

タイトル「2026公開講座の申込み」

①受講を希望する講座No.と講座名

②氏名(フリガナ) ③〒・住所 ④連絡先の電話番号・FAX番号

⑤「一般の方」か「卒業生」かをご記入ください。

(本学卒業生の場合で、卒業学部・学科、在学中と姓が変わった方は旧姓もご記入ください。)

メール: [chiikikouza@ad.hakuoh.ac.jp](mailto:chiikikouza@ad.hakuoh.ac.jp)

ファックス: 0285-20-8161 公開講座係

〒323-8586 小山市駅東通り2-2-2 白鷗大学地域連携サポートセンター 公開講座係

【Web申込フォームQRコード】



【受講料】1講座(90分): 500円(税込)

希望者が5名に満たない場合は、閉講となりますので、あらかじめご了承ください。

メール等の申し込みが到着し、それぞれの講座が、5名以上となった状況で開講決定となります。

決定後、メール(または電話)にて、ご連絡いたします。

【受講料の納付について】

受講料は、開講日までに(開講日当日でも可)に、本キャンパス3階にある証紙券売機で、

500円の証紙をご購入し、3階の地域連携サポートセンターで、受付を行ってください。

\*卒業生の方は、鷗友会(同窓会)から補助があり、4講座まで無料で受講できます。

【教室について】

教室は受講日当日に、キャンパス内掲示にてお知らせいたします。

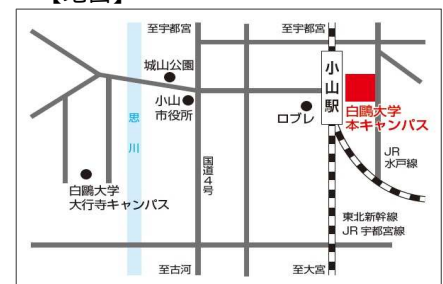
※全講座、本キャンパスでの開講です。

【お問合せ先】

白鷗大学 本キャンパス 地域連携サポートセンター

電話: 0285-20-8114(平日のみ9:00~16:30)

【地図】



ご注意: 校内に駐車場はございません。